

全国学力・学習状況調査の結果について

平素より本校教育へのご理解ご支援をいただきまして、誠に有難うございます。

さて、全国学力・学習状況調査につきましては、今年度から抽出となったため、本校では学校独自で実施しました。今年度から、本校では算数科を研究教科としましたので、算数科のみを全国学力・学習状況調査実施日にあわせて実施しました。国語科につきましては、授業の中で実施しました。

なお、結果及び今後の取組については次の通りです。

《算数科》

1. 結果（平均正当率）

① 算数A（主として知識）

五日市小学校	広島県	全国
75.9	77.2	74.2

② 算数B（主として活用）

五日市小学校	広島県	全国
57.9	51.9	49.3

2. 今後の取組

- 教科全体の平均正答率については、A問題、B問題とも全国を上回っていますが、加減乗除の混じった計算問題、割合に関する問題、文章問題において正答率が低くなっています。つまり「数量関係」の領域が弱いことが分かりました。
- 「数量関係」で必要な力とは、加減乗除を場面によって使い分ける力、絵や図を用いて表現する力、資料の分類整理をグラフや表を使って表す力、公式を使う力、文字式で表す力、比について理解・活用する力、割合について理解・活用する力などです。
- したがって、今後は、「数量関係」の領域の問題に重点をおいた取組や、根拠を明らかにして論理的に説明できる力をつけていくような取組を全学年を通して行っていきます。

《国語科》

1. 結果

国語科については、今年度一斉での実施はしておりません。各クラスで、国語科の授業の中で実施し、その結果をもとに取組を進めています。

全体的な傾向として、国語A（主として知識）は、広島県、全国の平均正答率を上回

っています。国語B（主として活用）は、広島県、全国の平均正答率を下回っています。

2. 今後の取組

- 国語A問題、国語B問題ともに、「書くこと」、「読むこと」において課題があることが明確になりました。また、「国語科への関心・意欲・態度」が低いことも判明しました。
- 「書くこと」の力を育てていくために、自分の考えを明確に表現できるよう、文章全体の構成の効果を考えること、事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることについて重点的に指導をしていきます。
- 「読むこと」の力を育てていくために、物語文の授業において、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができるよう指導していきます。
- 「国語科への関心・意欲・態度」を高めるために、日頃から言葉に関する興味を広げる学習をしたり、幅広い分野の本に親しませたりしていきます。

今回の結果をもとに、今後も指導方法を工夫し、日々の授業を充実していきますので、ご理解ご協力よろしく申し上げます。